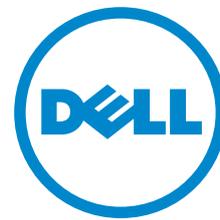


Dell Compellent ソフトウェアスイート



データのプロビジョニング、配置、保護を
ライフサイクル全体で最適化する
ビルトインオートメーション機能を備えた
統合エンタープライズ
ストレージソフトウェアです。



データがビジネスの迅速化を促進する要因の1つとなり、今日の企業におけるデータストレージへの依存は非常に高まっています。そのため、最適なストレージの選択が戦略的かつ広範囲なものになったほか、リスクも増大しました。制約のある単一機能製品や固定されたソフトウェアアプリケーションによって、データストレージの柔軟性は閉じ込められてしまいます。統合された一連のソフトウェア機能を搭載したDell™ Compellent™を使用すると、あらゆる規模の企業が、データを保存するだけでなく、積極的かつインテリジェントにデータを管理できるようになります。ビルトインオートメーション機能を備えた高性能のストレージソフトウェアによって、データのプロビジョニング、配置、保護がそのライフサイクル全体で最適化されます。

データ管理の方法を根本から変える

Dell Compellent Storage Center™ では、お客様のデータ管理方法に変化をもたらす特許取得済みのアーキテクチャが活用されています。リアルタイムのシステムインテリジェンスをブロック単位で採用することで、用途とパフォーマンスに関する実際のニーズに基づいて、データを必要な時に必要な場所に移動できます。Storage Centerでは、このきめ細かいリアルタイムのシステムインテリジェンスによってストレージインフラストラクチャを仮想化します。すべてのホストが共有するハイパフォーマンスストレージのプールを作成することで、エンタープライズストレージにおいてこれまでにない効率性、機敏性、耐障害性を実現できます。

少ないハードウェアでパフォーマンスを向上

Dell Compellentでは、ストレージをドライブレベルで仮想化できます。読み取り/書き込み操作をすべてのドライブに分散して、複数の要求を並列的に処理することで、データアクセスが高速化します。ハイパフォーマンスで効率性に優れた仮想ボリュームを数秒で作成できます。この場合も、ドライブを特定のサーバに割り当てる必要もなければ、複雑な容量計画やパフォーマンスチューニングも必要ありません。物理ドライブによる制約がなくなり、中断やダウンタイムなしで仮想プールを動的に変更または拡張できます。

ストレージの総コストを削減

特許取得済みの階層化テクノロジーを採用したDell Compellent Data Progression™ は、実際の使用率に従って自動的にデータを分類し、最適なストレージ階層およびRAIDレベルに移行します。すべての新しいデータは階層1、RAID 10に書き込まれ、スナップショットは24時間以内に最下位の階層にまでカスケード処理されます。その後、最もアクティブなデータブロックはハイパフォーマンスのSSDドライブ、FCドライブ、またはSASドライブで維持される一方、アクティブでないブロックは低コストで大容量のSASドライブまたはSATAドライブに自動的に移動されます。その結果、ストレージはアプリケーションニーズを常に満たすことができます。また、拡張するにしたがって、容量に対する全体的なコスト効率が向上します。

ストレージ使用率の最大化

すべてのDell Compellentシステムに組み込まれたDynamic Capacity™ は、ボリュームをシンプロビジョニングするため、ストレージ使用率が大幅に効率化されます。デルの最新のシンプロビジョニングでは、ストレージの割り当てと使用を完全に分離しているため、ユーザーは、サイズに関わらずボリュームを事前に割り当てることができる一方で、物理容量が使用されるのはデータの書き込み時に限られます。また、アプリケーションで使用されなくなった容量を再活用できるほか、仮想OSボリュームに必要な容量を自動的に削減したり、既存ストレージ上の従来型ボリュームをシンプロビジョニングされた容量に変換したりすることができます。

ダウンタイムおよび災害発生時のデータ保護

Data Instant Replay™を使用してスペース効率の高いスナップショットを継続的に取っておくと、損失あるいは削除してしまったファイルのローカルリカバリを迅速に実行できます。最初のボリュームスナップショットを取った後は、データの増分変更のみをキャプチャする必要があります。このような読み取りおよび書き込みが可能ならプレイは、低コストのドライブに自動的に保存され、これらを使用すると、いかなるサイズのボリュームも10秒以内で任意のサーバにリカバリできます。

Remote Instant Replay™によってこれらのリプレイをローカルサイトおよびリモートサイトの間で活用することで、コスト効率の高いレプリケーションソリューションが実現されます。最初のサイト同期の後、データの増分変更のみが引き続きレプリケートされます。これによってハードウェア、帯域幅、および管理に関するコストを削減できます。お客様固有のビジネス要件に合わせて、ファイバチャネルまたはネイティブIP経由でレプリケートできます。

動的なビジネス継続性を実現

Live Volume™を使用すると、お客様は必要に応じてストレージをDell Compellentアレイ間で移動できるため、高可用性およびデータへの継続的なアクセスを実現できます。すべての移行が透過的に実行され、同時に、アプリケーションはオンラインで維持されます。機能は完全に統合されているため、ハードウェアやサーバ側エージェントを追加する必要はありません。Live Volumeは、あらゆる仮想サーバ環境をサポートしており、優れた仮想マシン (VM) 移動エンジンを補完します。

特長

Dell Compellentソフトウェアスイート

Dynamic Capacity

Allocate on Writeテクノロジー	○
事前の割り当て作業	不要
物理ストレージを超えるボリュームの定義	○
ページベースの自動割り当て	○
割り当てページサイズ	デフォルトで2MB、オプションで512MBまたは4MB
RAIDレベルの動的な変換	○
中断せずにオンラインでストレージを追加	○
データ書き込み時のみドライブ操作 (コピー、レプリケーション、および再構築など)	○
容量使用率のユーザー定義しきい値	Eメール、ポケットベル、警告、電話連絡機能

Data Progression

ストレージ階層の定義単位	ドライブタイプ、RAIDレベル、回転速度
RAIDレベルのサポート	RAID 0、5、6、および10
ドライブのサポート	ファイバチャネル、ソリッドステートドライブ、SAS、SATA
ドライブの混在	○(共有プール内で、複数の階層およびRAIDレベルを含むあらゆるコンビネーションが可能)
複数のRAIDレベルおよび階層にまたがってボリュームを保存	○
スナップショットの移行	○(自動実行)
データの分類および移動に必要な追加ソフトウェア	なし

Data Instant Replay | Remote Instant Replay

リプレイの作成およびスケジュール設定の自動化	○
事前の割り当て作業	いいえ
読み取りおよび書き込みが可能なりプレイ	○
コピーオンライトテクノロジー	なし。データへのポイントのみ
リカバリにはボリュームクローンが必要	不要
有効期限が切れたリプレイの自動統合	○
リプレイのスケジュール設定の頻度	1回、分単位、時間単位、日次、週次、月次
ボリュームに対する複数のリプレイスケジュール	○
書き込みデータのみを使用したボリュームのリカバリ	○
レプリケーションポロジのオプション	ポイントツーポイント、ポイントツーマルチポイント、ピアツーピア
非同期レプリケーションのサポート	○
レプリケーションインターフェイス	ファイバチャネル、iSCSI
レプリケーションリンク速度	T1以上
レプリケーションリンクの帯域幅の見積りおよび最適化	○
リプレイの重複排除	○
ロケーションあたりの独自のリプレイスケジュール	○
リンク運用可能時のボリュームリカバリ検証	○
あらゆるホストへのボリュームのリカバリ	○
Microsoft® VSSおよびVMware SRMとの統合	○

Live Volume

非同期レプリケーション	○
サポートされるボリュームの数:Live Volumeのサイズ制限	50:150MB
Enterprise Managerによる管理	○
中断のないボリューム移行	○
距離制限	なし(アプリケーションによって異なります)
PowerShellのサポート	○
クラスタ環境のサポート:MPIO	○
プライマリサイトの自動移行	○



www.dell.co.jp/compellentでデータ管理に変革を

●製品の購入には当社の販売条件が適用されます。●本カタログに使用されている製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。●構成や仕様により、提供に制限がある場合があります。詳細は弊社営業にお問い合わせください。●システム構成により、提供に制限がある場合もございます。●Compellent、DELLロゴは、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。●製品の実際の色は、印刷の関係で異なる場合があります。●本カタログに記載されている仕様は2011年4月4日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。最新の仕様については、弊社営業またはホームページにてご確認ください。